

朝日アグリア堆肥活用に取り組みと 堆肥入り複合肥料の機能性について

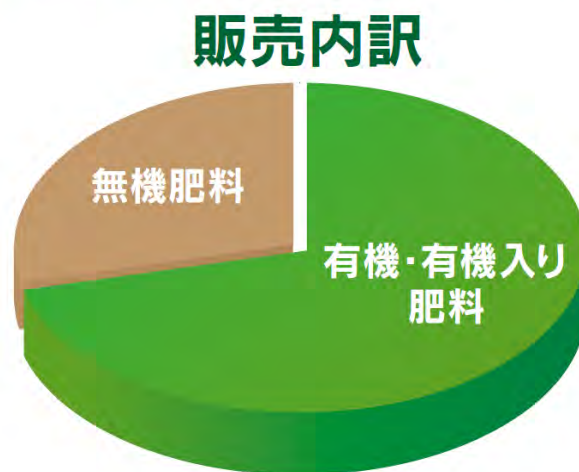
2022年9月13日



朝日アグリア株式会社

**私たち朝日アグリアは
資源循環型社会の実現を目指しています。**

土に 人に 植物に 環境にもやさしい有機肥料



**粒状有機肥料
販売シェア
国内トップクラス**

私たちは有機のスペシャリストです！

有機肥料を、生産者の皆様が使いやすい粒状肥料に加工することで、
収量・品質の安定した農作物づくりに貢献しています。

朝日アグリアの強み

粒状加工技術

有機肥料を もっと使いやすく!

作物・施肥機に応じた、様々な粒形の有機・有機入り肥料を生産しています。

硬度・円球性に優れた**有機アグレット肥料**は水稲側条施肥田植え機でも使用出来ます。



未利用資源活用

有機肥料の 低価格化・安定供給!

未利用資源を有機肥料原料としてリサイクルし、低価格化と安定供給を実現しています。

未利用資源活用例

- ・乾燥菌体肥料
- ・蒸製皮革粉
- ・ラーメン骨粉(とんこつガラ)
- ・各種堆肥(畜産・食品)
- ・各種燃焼灰

新商品開発

新たな 商品開発に挑戦!

省力・低コスト、生産性向上、環境をテーマにした商品開発を目指しています。

新商品開発例

- ・牛ふん堆肥活用肥料
- 農家想い、稲サポ、他
- ・微生物資材
- ゆめバイオ・まめリッチ
- ・水稲流し込み液肥

朝日アグリアの生産拠点

関西工場 滋賀県甲賀市



関東工場 埼玉県児玉郡神川町



千葉工場 千葉県旭市



朝日アグリアの生産肥料と生産工場

01 化成肥料



球形

関東
工場

有機含有

0～50%

02 ペレット



円柱形

関東
工場

有機含有

50～100%

03 ブリケット



扁平球形

関西
工場

有機含有

30～70%

04 アグレット

朝日アグリア

オリジナル



球形

千葉工場
関西工場

有機含有

50～100%

✓ 堆肥活用の取り組み・方針

時代背景の変化

● 肥料法改正

配合規制の緩和・公定規格の見直し、他

● みどりの食料システム戦略

化学肥料削減・有機農業の拡大・地域資源の最大活用、他

● 肥料価格高騰

世界的な人口増に伴う穀物等需要の拡大

肥料原料輸出国の寡占化（日本は化成原料の大半を輸入に依存）

ロシアによるウクライナ侵略に伴い、食料安全保障上のリスクが顕在化

✓ 堆肥活用の取り組み・方針

堆肥活用の現状と課題

■ 労力、品質(成分が不明確)等により、堆肥施用量、施用農家の減少

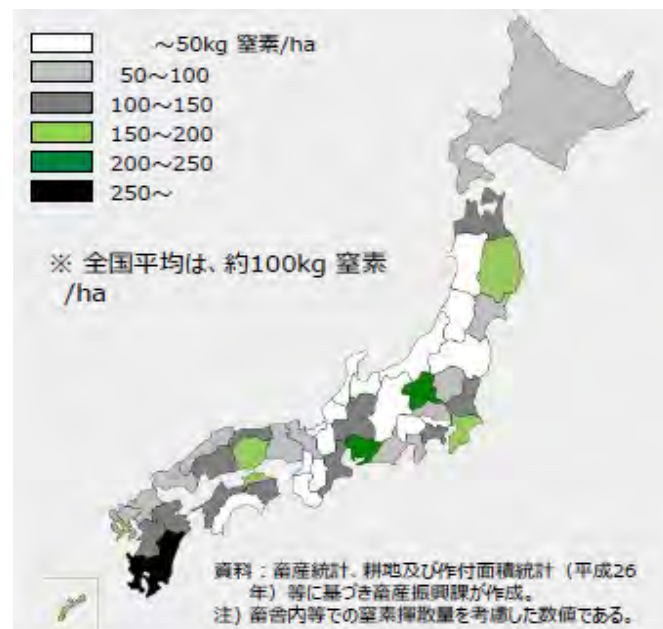
■ 堆肥発生量の地域的偏在

- ・比重が軽く、高水分の堆肥をどのように取扱いやすくするか
- ・堆肥 = 安価：広域流通に適うように付加価値をどう高めるか

水田への堆肥の投入量の推移



耕地面積当たりの家畜排泄物発生量（窒素ベース）



✓ 堆肥活用の取り組み・方針

当社の方針・考え方

■ **堆肥をその他肥料と混合・粒状化 ⇒ 付加価値を付ける**

・新たな肥料制度(混合堆肥複合肥料・指定混合肥料)の積極活用

→ 撒きやすい、散布回数を減らせる、成分が均一、長く・無駄なく効く、臭いが少ない、品質保持性が高い、運搬性に優れる、等の効果

→ 海外の肥料原料が高騰する中、価格が国際情勢に左右されない堆肥を活用することで、肥料コスト低減・安定供給に貢献



✓ 堆肥活用の取り組み・方針

肥料制度の変遷

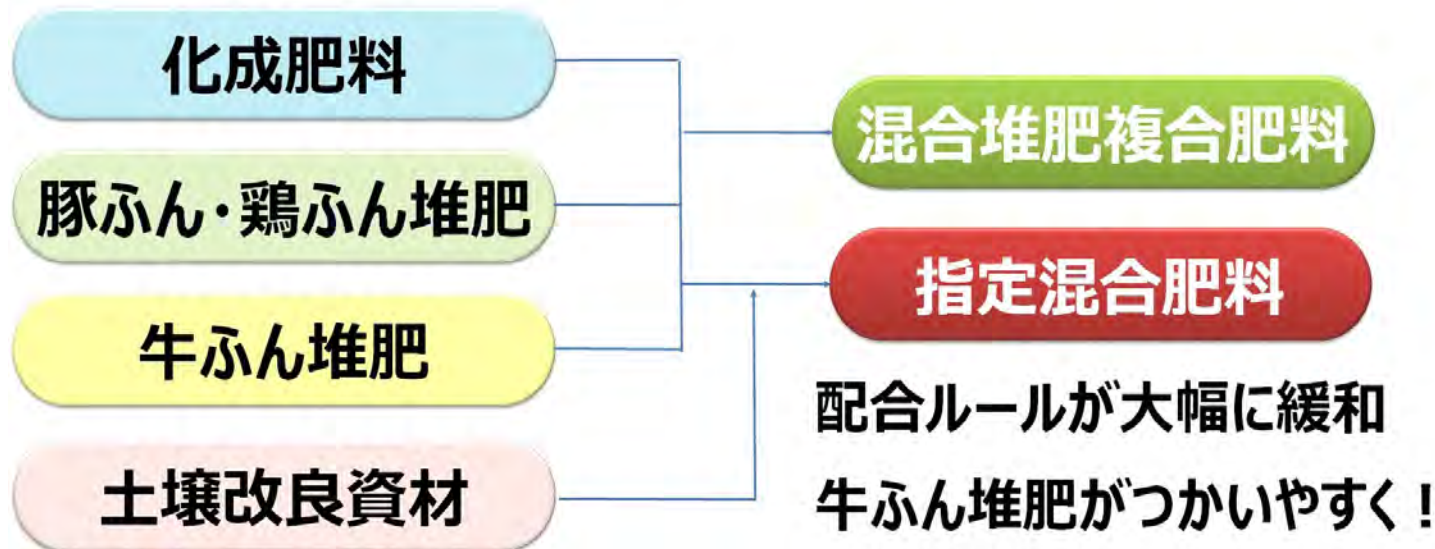
～2012年



2012年～

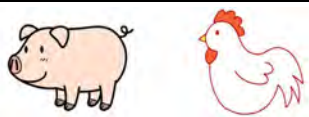


2020年～



✓ 堆肥活用の取り組み・方針

朝日アグリア堆肥活用肥料

肥料の種類	混合堆肥複合肥料	指定混合肥料
堆肥種類		
形 状	アグレット ブリケット ペレット	ペレット ※他形状開発中
商品名	エコレットシリーズ、他	農家想い 稲サボ 粒状ペレット堆肥、他

肥料規格（肥料の種類）・製法（形状）で堆肥を活用した商品を展開

※上記規格以外に、従前の堆肥（特殊肥料）としての商品も展開

✓ 混合堆肥複合肥料

～様々な商品をラインナップ～

全工場で生産
(アグレット・ブリケット・ペレット)

【特長】

- ① 堆肥と化成肥料を混合・粒状化。
- ② 豚ふん、鶏ふん堆肥（CN比15以下）を主に配合。
堆肥の配合割合は50%（乾物）以下。
- ③ 2013年の販売開始以降、コンセプト、価格優位性、優れた機能性により、年々実績は増加傾向。

混合堆肥複合肥料に被覆尿素、その他化成肥料を配合したBB肥料タイプ（指定配合肥料）銘柄も展開中



✓ 混合堆肥複合肥料の機能性

堆肥と化成肥料を混合・一粒化することによる効果

堆肥 (特殊肥料)



- ・施用しにくい
- ・成分ばらつき
- ・窒素の肥効が低い
- ・衛生・雑草リスクあり

肥料 (普通肥料)



- ・有機物供給少ない
- ・土壌pH低下しやすい

混合
造粒
乾燥

混合堆肥 複合肥料



様々な機能性
を持つ肥料

- ・施用しやすい
(ハンドリングが良い)
- ・有機物を供給する
- ・可給態窒素が増加する
- ・硝化が遅い
- ・リン酸肥効が高い
- ・土壌pHが安定する
- ・精密に施肥設計できる
- ・有機化成に比べ成分あたりの価格が安い
- ・衛生・雑草リスクは無い

(農研機構:混合堆肥複合肥料の製造とその利用より)

技術マニュアル「混合堆肥複合肥料の製造とその利用」について

混合堆肥複合肥料の肥効的特性から、生産技術内容についてまで、本マニュアルの中でまとめられており、農研機構のホームページ内にて公開されています。

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/133583.html

本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「水田作及び畑作における収益向上のための技術開発」「生産コスト削減に向けた有機質資材の活用技術の開発」により行われたものです。



混合堆肥複合肥料
の製造とその利用



農研機構

✓ 混合堆肥複合肥料の機能性

自社試験研究農場での連用試験（耕種概要）

化成
+
堆肥区

毎年春に堆肥
施用
以降、毎作化
成肥料を施用

1年目

堆肥

化成



化成



化成



2年目

堆肥

化成



化成



化成



3年目

堆肥

化成



化成



化成



4年目

堆肥

化成



堆肥施用量1,000kg/年

混合堆肥区

1年目

混合堆肥



混合堆肥



混合堆肥



2年目

混合堆肥



混合堆肥



混合堆肥



3年目

混合堆肥



混合堆肥



混合堆肥



4年目

混合堆肥



総堆肥施用量300kg/年相当

堆肥施用なし